

## 平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(2)保育所

日時 9月8日(土) 午前10時から正午まで

場所 厚木市文化会館 302 会議室

### テーマ1「地域での子育て支援について」

#### ●こども未来部長

共働きの世帯、核家族が増え、仕事が忙しいこともあり、地域での交流、ふれあいが昔に比べると少なくなったのではと感じています。

こういった背景があり、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定しました。「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げた条例です。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会などたくさんの方が様々な方法で子育て世帯を見守ってくれています。

また、自然災害が発生し、皆さんが職場から自宅に帰れなくなった場合、子どもの様子を誰が確認するのか。やはり地域の方に頼ることがあると思いますので、いろいろな形で地域の方とのつながりを持っていただきたいのですが、なかなかつながりが持ちにくい、という声を聴いています。

本日お聴きたいこととして、1つ目は、皆様が地域の方々とどのようなつながりを持っているのか、2つ目は、つながりが持てない理由をお聴きしたいと考えています。

●アパートでどんな方が住んでいるのか知りませんが、実家の周りは知人ばかりなのでつながりはあります。同級生も地元に残っているので、そういった方から地域行事の情報を教えてもらいます。実家は自治会に入っていますが、アパートは自治会に入っていないです。ただ、小学校に上がると、子ども会などの連絡が入ってくるようです。

#### ●こども未来部長

地域行事には忙しくて参加できませんか。お祭りなどは行かれますか。

●時間が合えば行きます。

#### ●こども未来部長

小学校に入るとつながりができやすいのですが、隣近所の方が分からないと心配ですよ。

●結婚して夫の実家がある厚木市に引っ越してきました。3年前からアパートに住んでいますが、知り合いがいません。自治会の話も全くありませんし、入りたくてもどうやって入るのか分かりません。ただ、自治会で活動する余裕もない状態なので、誘われたとしても入るかどうかが悩みます。

#### ●市長室長

自治会に加入しても活動ができないとなると、遠慮する気持ちが出てきてしまいますよね。

●自治会に入っていますが、活動には参加したことがありません。仕事が忙しいのと、休みの日は家族で過ごしたいので、今まで参加しませんでした。マンションに住んでおり、子どもの友達のつながりで知り合いが増えています。自治会の方は知りませんので、地域の行事も参加しづらいです。

#### ●こども未来部長

例えば、自治会では災害時に備えて自主防災隊を組織しています。

●市長室長

自治会では自主防災隊を組織し、災害に備えていただいています。日本各地で自然災害が発生していて、地震は必ず来るもの、として備えていただくよう呼びかけています。近所の方にお子さんの事を知ってもらっただけでも安心だと思います。お子さんだけで家にいるときがあるかもしれませんが、いつ地震が発生するかは分かりません。例えば、公園で遊んでいるとき、近所の方が声を掛けてくれる関係はありがたいと思います。お子さんのつながりで近所の知り合いが広がる人が多いようですが、絆という大袈裟なものではなく、顔見知り程度でも災害時には助かるのではないかと思います。

●マンション内であいさつはしますが、隣近所にどんな方が住んでいるのか分かりません。災害時、頼れるかというところが難しいと思っています。子ども会に入っていますが、土・日曜日に習い事があり家にいないので、行事に参加できていません。本当は参加したいのですがなかなか難しい状況で、つながりはないかと思います。もう少し近所付き合いがあれば良いと感じています。

●こども未来部長

子ども会などお子さん同士で遊びに行こうよ、という話もあるかと思うのですが、やはり習い事で忙しいのですかね。

●平日遊べる場所がなく、小学校まで行かないとサッカーボールを蹴れるところがありません。土・日曜日は別の場所に行って遊んでいます。近くに広場がありましたが、宅地になるということで使えなくなってしまい、子どもたちががっかりしていました。

●住んでいる学区の学校よりも隣の学校の方が近いため、隣の学校に通っています。自治会は学区内の学校の子供が多いので、知っている友達がいません。行事がたくさんある自治会ですが、友達がいないので参加しづらいです。学区の分け方はどうなっているのか疑問です。地域の人は優しく、送迎時など声を掛けてくれるので良い所だと感じています。

●教育総務部長

基本は自治会と学区が合致していますが、一部違う場所もあります。学区が定まらなると小学校の規模が決まらないため難しい状況です。少しずつ友達を増やしていただきたいと思っています。

●こども未来部長

違う学区でも地域行事に参加されていることは素晴らしいです。学区が違っても参加しないこともあります。市で友好都市がある横手市や網走市に子どもたちを連れていく事業がありますが、全く違う学年でも、すぐに友達になることができます。子どもは柔軟性があるので、是非いろいろなお友達を作っていただければと思います。

●子どもが生まれる際、厚木市に引っ越してきました。その時に、自治会に加入して、持ち回りで班長をしています。自治会に入ってきた方で、同じ年齢の子どもがいる方もいたため、それなりのつながりが持っているといます。とはいえ、自治会加入直後は地域のことが分からなかったもので、そういったつながりがないと難しいのではと実感しています。そうでない方にとっては、どういうことをしているのか分からないまま、疎遠になっていく方もいるのではないかと思います。

●こども未来部長

転入された方も若い方から声掛けをしてくれると安心するのではないのでしょうか。また、同世代だと話しやすいかもしれません。

●父親同士はつながりにくい所もあるかと思います。母親たちがいるところの近くにおいて、話をなんとなく聞いている状態です。

●こども未来部長

その様な輪の中に入ってくれるだけでも違うと思います。災害の時など、いざというときは活動してくれています。

●防犯 SOS メールで不審者情報が発信されていますが、知っている人かどうかで不審者との区別ができると思います。つながりがあって、周りの人を知っているか知らないかは、結構大きな差があると思います。特に子どもたちにとっても違うと思います。

●こども未来部長

子どもが知らない人に声を掛けられていたところを、子ども会で顔見知りだった近所の方が助けてくれたという話もあります。知っている人に声を掛けられれば安心することもあるかもしれませんが、地域のつながりは大事だと思います。

●保護者会で意見を集めたので発表します。土・日曜日は出かけてしまう、子どもの習い事が多くて行きたいけど行けない、といった意見が圧倒的に多かったです。この他にも、無理に行くと親の負担が増えるという意見も多かったです。また、地域の集まりに行くとは必然的に役員をやらされてしまう、という意見や、自治会の集まりに参加しなければ地域の交流が持てないという考え方自体が間違えではないか、という意見もありました。親の負担も増えるので、努力しなければならないところもありますが、学校の通学路の見守りは身近に子どもの安全が守れて、地域にも貢献できるので、そういった活動を増やしてほしい、学校の授業の中で地域との関われる場を持っていただけると、親としてはうれしいという意見がありました。誰もが自治会、地域と関わりを持ちたいのですが、圧倒的に時間が足りないのが現状かなと思います。私自身はアパート住まいで、同じくらいの年頃の方は顔見知りです。自治会費を払っていますが、回覧板や子どもの集まりの情報は入ってきません。周りの方もアパートで自治会に入っていると思いますが、情報が入ってこないという方もいました。自治会費はごみ出しの意味合いもあるので、戸建てでは加入する理由も明確ですが、アパート・マンションとなると、自分がどの自治会なのか、誰が班長か把握できていないので、そういったところで何かできるのかな、という意見が出ていました。

●市長室長

広報紙は届けられていますか。

●広報紙は来ます。自主的に自治会を廃止したという地域もあると聞きました。役員が少なく、回覧板が廃止になるという連絡を受けた方もいました。

●市長室長

自治会廃止の話は初めて聞きました。

●マンションの話かもしれないのですが、お知らせが入ってこないのが困っているという意見を聞きました。

●市長室長

回覧板には、市や地域の重要なお知らせを周知する役割があります。

●こども未来部長

通学路の見守りなど、どうなのでしょう。

●学校教育部長

地域の方が子どもたちの通学を見守ってくれているのですが、今年度から自治会を含めたコミ

ユニティスクールという取組が始まりました。学校と保護者、地域が一体となって学校運営に取り組んでいくものです。地域の見守り活動と自治会活動が一体となって、学校をサポートすることで、お子さんを通して地域の方とのつながりができると思います。また、学校を中心とした自治会活動も出てくると思いますので、そういったものに参加していただければ、自然に地域のネットワークへ入っていけるのではと思います。

●教育総務部長

コミュニティスクールは、地域の方 10 から 20 人くらいで学校運営評議会を作ります。学校によっては小中学校で一緒に作っているところがあります。地域の方がそれだけの人数で関わっていますので、知り合いに声を掛け合っただけであれば、参加できる活動が広がっていくと思います。

●こども未来部長

自治会費を払ったメリットは何か、という話を聞きます。ごみ集積所の清掃を始め、草刈りなど、自治会の方々は見えないところで地域や子どもを守ってくれています。そういった活動は地域の皆さんで協力していかないとできないと思います。できれば、地域の防災訓練などに年 1 回ぐらいは参加していただきたいと思いますが、それ以外は、子育てが第一です。自分の時間はもちろん、子どもとの時間も大切に、いつか自分の時間に余裕ができたときに、少しでも地域に還元してもらえれば良いと思います。

●住んでいる地区は高齢者が多く、子どもにいろいろと声を掛けてくれて、顔見知りができています。子育て支援センター、児童館に行かせてもらっていて、先生と仲良くなったり、友達もできているので和気あいあいと地域の中でやっています。

●こども未来部長

お子さんは、今は保育所と家との往復のみが多いと思いますが、小学校に上がると社会が何十倍にも広がります。普段から様々な人と接していると、成長できますし柔軟性も育つと思いますので、今の関係を続けていっていただきたいです。

こんなことをやったら地域で仲良くなれた、というような話があればお聴きしたいと思います。また、以前の意見交換会で、小学生のお子さんがある方から、保育所に通っていたときは心配だったけれども、小学校に上がったらくさん情報が入ってきて助かったよ、という話がありました。小学生のお子さんがいられる方でしょうか。

●上の子が小学校中学年です。1 歳前に厚木市に引っ越してきました。保育所に希望を出しましたが待機となったため、託児所付きの会社で仕事をしました。託児所は数人しか子どもがいなかったもので、小学校に上がって大丈夫かと心配しましたが、人見知りもなく大丈夫でした。下の子は年長で保育所に入れましたが、もっと早く保育所に入れたかったと思っています。

●こども未来部長

待機ゼロとなるよう、受け入れ数を増やしています。

●市長

東日本大震災の際、一番頼りになって助けてくれたのは近所の方と地元の消防団でした。それぞれの立場の中で忙しいかと思いますが、どこかで地域とつながっていた方が良いと思います。役員は務められないという話をよく聞きますが、誰かがやらないとつながりはなくなります。今は、AI や情報機器が溢れていますが、大事な部分が活字でのやり取りのみでは気持ちが伝わりづらいです。マンションで隣に住んでいる方が分からないという話もありましたが、あいさつだ

けでも気持ちがほぐれてくると思います。家庭を守ることは当然ですが、社会の中では一人では生きていけないことも事実です。気持ちを表に出すことで良い関係が作れると思います。

自治会、子ども会の加入が少なくなってきましたが、皆さん一生懸命に取り組んでいただいています。地域で黄色いベストを着て活動してくれている方は、全員ボランティアです。セーフティベストは8,000着。皆さん、自らの気持ちで自分たちのやれる範囲の中で見守ってくれています。そういった方たちがいて、子どもたちが育つ環境にあると思います。

皆さんのお話を聴いて、いろいろと考えていただけるのだと伝わってきました。

#### ●こども未来部長

今は無理でも、いつかは、という気持ちがあるだけでも違います。年に1回でも地域行事に参加してもらい、つながりを持っていただければと思います。

## テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

#### ●社会教育部長

スマートフォン所持の低年齢化が進んでいると言われていています。中学生になるとスマートフォンを持ち始める、無料通話アプリで部活の連絡をする、という話も聞きます。上のお子さんが小学生の場合、いつ機器を持たせるか悩み始める時期ではないでしょうか。保育所のお子さんのみの場合は、今、を持たせることはないと思いますが、考えを聴かせていただきたいと思います。また、スマートフォンに限らず、お子さんとの約束事などもあればお話しいたきたいです。

以前の意見交換会では、GPS機能付きで、通話機能のみのキッズ携帯が安全で、小学生のうちから持たせているという方がいました。

●子ども一人で外に出すことはありません。ファミリーサポートセンターを利用して、公園に行くときも誰かが見守っている状態です。小学校も近くて、横断歩道に誘導してくれる方もいて、地域の声掛けもあるので安心だと思っています。

●保育所に通わせているので、本人にキッズ携帯やタブレットを持たせることはありませんが、小学校入学をキッズ携帯を持たせる機会とした人がいました。また、放課後児童クラブの切り替えの際、小学3・4年生で持たせることもあるようです。持たせる際は、アクセス制限をかける、親がそばにいるときのみタブレットを使わせる。中には子どもを信じる、という方もいました。

#### ●こども未来部長

機器を持たせるときの約束事の話はありませんでしたか。

●時間を決める、何かを終わらせてからやるなど、ルールを決めて持たせている方が多いです。これだけ機器が世の中に溢れていると、子どもも興味を持ちます。保育所でも動画やテレビの話題が出てきますが、自分自身で持つのではなく親が管理をしながら見せているという方が多いです。

#### ●社会教育部長

子どもの方が早く機器を使いこなせるようになることが多いですね。

●年長の子どもは私より機器を使いこなせています。最近では、どこかに出かけても、なんでも一人でやりたい、という発言が増えてきています。しかしながら、トイレに行かせるだけでも事件に巻き込まれる御時世なので、親としての葛藤もあると、ほかのお母さんから意見が出ています。

●小学校高学年の子どもがいますが、持たせていません。親のスマートフォンを使うことができますが、パスワードを設定しているのに、いつの間にか解除されてしまいます。インターネットの履歴を確認すると、予想もしないところを閲覧していて驚くことがあります。小学校では、使い方など学ぶのでしょうか。

●学校教育部長

スマートフォンの教室を中学校で実施していましたが、誰の家でも通信機器があり、小学生でも機器を持たせている家庭が出てきていることから、今では小学校でも携帯電話教室を実施しています。機器の使い方だけでなく、危険性も教えています。

●小学生の子どもは誕生日プレゼントにスマートフォンが欲しいと言っています。子どもが小学校で勉強して、自分たち、親もきちんと教えられるようになったら渡そうと考えています。もちろん、持たせる際には制限を掛けるなどしますが、中にはそれをせず持たせてしまうこともあるようなので、そういった方向に流されてしまうのではと心配しています。

●学校教育部長

タブレット、スマートフォンが悪い訳ではなく、上手に正しく使えば知識を得ることができる機器です。子どもの安全を見守るという意味では、GPS付きで、今どこにいるか確認できる、欠かせないものになっているような気がします。

最近気になることとして、電車の中で小さなお子さんが、スマートフォンを手に持って動画を視聴している様子を見かけます。また、家事の間に動画を見せればおとなしくなるということで、小さい頃から機器の使用の経験を積んでいる子どもが多くなっています。ゲームを上手にやっていると見掛けます。避けられない文化なのかもしれませんが、本当に怖いこととして、依存してしまうことが問題になっています。スマートフォンの依存については病気だといわれています。使い方次第で危険なことに遭う場合もあります。小さい頃から機器に触れていることの危険性が、やがて心配事につながるのではないかと考えています。

どういった危険があるのか教員も知らないといけません。保護者の方にも知っていただきたいので、学校で行う携帯電話教室と一緒に参加してくださいと声掛けをしています。大人もどうということが問題になっていて、何が危険につながるのかを知る必要があると思います。そういう機会を教育委員会で考えていきたいと思っています。

●社会教育部長

配布している資料で「ケータイ・スマホの正しい使い方」というパンフレットがあります。今後、未就学のお子さんを対象にしなければならないこともあるかもしれません。新聞で10歳以下のお子さんもゲーム依存にかかるケースが増えているという記事がありました。機器の使用はどんどん低年齢化しています。最初の約束が非常に大切になってきます。

●子どもは小学生が2人、園児が1人います。小学生は行動する範囲が広がり、どこにいるのか分からなくなるので、キッズ携帯を持たせました。スマートフォンの依存は、外で遊ぶ場が少ないので、そこにつながってしまうのだと思います。ゲームは15分と決めています。土・日曜日が雨だと市内には遊びに行くところがないので、横浜市まで遊びに行くことがあります。遊んでいる間はタブレットを欲しいとは言いません。暇を持て余す時間があるからそうなるのだと思います。子育て支援センターは小さい子は遊べますが、大きい子は児童館に行くことしかできなくて、遊びが限られると児童館に集まってスマートフォンをいじっています。せつかくの遊びの場なのに、それではここに来る必要はないのでは、と誤ってしまいます。

●こども未来部長

児童館は原則、スマートフォンの使用を禁止しているのですが、指導員の目が届かないところでやっているのでしょうか。

●児童館の端っこなど、指導員さんの目が届かない場所かもしれません。遊びの場なのに何だろうと感じます。学習システムも小学校でタブレットが導入されて、その延長でゲームをやっています。タブレットは便利ですが、良い点と悪い点があると感じています。

●社会教育部長

スマートフォン、タブレットの使用は、これからの時代、仕方のないことかもしれません。

●上の子はキッズ携帯を持たせています。行動範囲が広くて、びっくりすることがあります。何かあった際に連絡が取れないことが不安なので、持たせています。また、持っているから安心という考えがあるので、無くしてしまったときの対策として、紙に連絡先を書いて持たせていて、公衆電話を使えるように練習させています。コンビニエンスストアで電話を借りることも教えています。テレホンカードを買ってお財布の中に入れてあります。

●市長

初めて聞きました。お子さんの安全のための工夫ですね。

●社会教育部長

公衆電話も少なくなってきましたね。

●こども未来部長

コンビニエンスストアで声を掛けることを教えることは良いですね。

●実際にキッズ携帯を忘れた際、コンビニエンスストアから電話をかけてきたことがあります。

●教育総務部長

コンビニエンスストアの店員に声を掛けることができたのですね。

●市長

駆け込みポイントもありますが、コンビニエンスストアにも協力をお願いできると良いですね。

●社会教育部長

一部のコンビニエンスストアは、店員が友達のように接してくれているところもあります。

●住んでいる地域のコンビニエンスストアは、店員も親切で公衆電話もあります。

●公衆電話はボタンを押すことに苦戦してしまうので、練習をさせています。

●社会教育部長

出かけるときに電話番号を書いて持たせることは良いですね。

●小学校中学年2人と年長の子供がいます。上の子は2年生から、留守番の練習をさせるためにキッズ携帯を持たせました。両親と会社の電話番号のみを登録しています。学校から帰ったという報告のメール、誰とどこに遊びに行くかのメール、遊びから家に帰ってきたというメールをするように約束していて、継続できています。遊びに行くときは、必ず学校で誰とどこに遊びに行くのかを決めるようにさせています。今はキッズ携帯ですが、スマートフォンが欲しいと言われています。夫と私の機器は触らせません。ゲームは30分と決めていて、あとは兄弟で遊ぶようにさせています。しかし、学校の元気塾に通ってタブレットが面白かったらしく、そのときは家でタブレットを用意するか考えました。夫と相談して小学生のうちにはタブレット、スマートフォンは持たせないと決め、中学校に上がったなら、周りがどのくらい持っているか状況を見てから考えようと思います。

●社会教育部長

ほんの少し前は高校生でスマートフォンを持たせるかどうか、と話していた時代でした。

●中学校の部活で必要になってしまうかもしれないですし、周りが持っていたら考えます。小学生でスマートフォンは必要ないと考えています。

●社会教育部長

初めのルール作りが大切になります。

●持たせることは、考えたことはありません。ただ、スマートフォンで遊びたがるので、時間を決めて使わせています。子どもはやりたい内容が決まっているので依存などの心配はしていませんが、動画などに興味がなくて、小学校で周りの話題についていけなくなるのではと心配しています。

●こども未来部長

話題についていけない心配はありますよね。子どもは機器の使い方を年上の子から教わってることがあります。小学校で携帯電話教室を実施していますので、親子で受けなければならない時代になっているのだと思います。

●年中と年少の子どもがいます。キッズ携帯を持たせることを考えたことはありませんが、タブレットと一緒に見ることはあります。小さい頃、電車やバス移動で泣いたりすると乗りづらいこともあるので、そういう時に動画を見せたことがあります。見ている間はおとなしくしてくれます。大きくなっても動画が好きで、友達と動画の話になると、子ども自身で動画を検索することがあります。ゲームでこれをやりたい、と言われることもあります。おもちゃで遊んでいて、動画を見ない日もあれば、今日はこれを見たい、と言われることもあります。時間を決めたり、視聴は1つだけと話すとな得してくれるので依存はしていないと思います。小学校で携帯電話を持たせるか考えはつきませんが、親戚の子どもは中学校に入ってスマートフォンを持たせたそうです。中学校の部活や親同士の連絡が無料通話アプリだと聞いているので、中学生になったらスマートフォンを買わなくてはならないかと考えています。

●こども未来部長

青少年健全育成協議会でスマートフォンの教室を行っていて、今年はWebカウンセリング協会の先生をお呼びし、私たちも勉強しています。スマートフォンは便利で賢く使えば良いのですが、怖い事件もあるということを知っていてほしいです。今は、レンタルショップで契約書無しで機器を買うことができます。親が知らなくても、子どもが機器を持っていることがあるそうです。また、機器の操作方法等を中・高校生の兄弟から教わることもあり、機器を持たせていない子どもでも、あっという間に使えるようになってしまうという例があります。私たちも勉強をしていかないと、追いつかないと感ずることがあります。講座もいろいろとありますので、広報紙等を見ていただきたいと思います。

●市長室長

たくさんの御意見をいただき、私たちも初めて気付かされたようなお話がありました。大変参考になりました。ありがとうございました。

**いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。**